



令和8年1月30日

養父市議会議長 様

議員氏名 前田 稔

政務活動概要報告書

政務活動の概要を下記のとおり報告いたします。

記

- 1 活動月日 令和8年1月12日（月）～令和8年1月14日（水）
- 2 活動場所 リファレンス西新宿大京ビル
- 3 活動目的 議員・議会の基礎の研修会参加
- 4 活動内容 地方議員研究会 宮本 正一 氏
① 議員の基礎力をつくる。
② 議員活動を武器にする。
- 5 活動成果 ①議員の基礎力をつくる。では主な地方自治法を学びました。
② 議員活動を武器にする。では一般質問の作り方。独自性。
市民に届く議員活動等について学びました。
(詳細は別紙のとおり)

以上



一日集中「議員・議会の基礎講座」に出席して

養父市議会議員 前田 稔

令和8年1月13日に行われた見出しのことについては下記のとおり復命します。

- 1 開催日時 令和8年1月13日(火) 10:30 ころから 16:15
- 2 開催場所 東京会場(東京都新宿区西新宿7-21-3 リファレンス西新宿大京ビル)
- 3 主催 地方議員研究会 講師:宮本 正一(大阪府寝屋川市)
- 4 参加者 約50人
- 5 研修内容等 講師の宮本 正一先生は家庭の急な事情により欠席となった。よって、時間遅れでの急遽オンライン授業となった。
このため受講料は全額返金し講義データを後日送付することとなった。

- (1) 議員の基礎力をつくる。10:30~12:20
地方議員の実践的な議員活動の基礎を習得
 - ・地方自治第89条:議会の設置—地方公共団体に議会を置く。
 - ・地方自治第96条:議決権—条例制定・改廃。予算の決定・決算の認定。契約の締結。議会の「決定」がなければ、市長は一步も動けない!
 - ・地方自治法第98条:検査権と監査請求権
 - ・地方自治法第100条:調査権—罰則規定があり強制的な調査ができる。
 - ・一般質問について:イ 事前調査(fact) 数字と根拠(evidence)。ロ 論理構成(logic) 現状~問題点~原因~解決策の順。ハ 答弁は「いつまでに。だれが。何をするか。」を問う。
- (2) 議員活動を武器にする。13:20~16:15 ころ。議員同士で情報交換等 16:30 ころ会場退出
質問・政策・発信で成果を出す。(講座の全体像—議員活動の7つの要素)
 - ・一般質問の作り方:成果を出す質問。
 - ・質問の独自性:先輩に聞かず、独自性(市民の声、先進事例、地域特性等)
 - ・予算書と決算書について
 - ・市民に届く議員活動:ニューズレターは必ず出す。
- (3) 一般質問の作り方
 - ・事例・数字に基づき、市民生活に直結し、代替案の提示、質問の問題点の明確化。
 - ・質問の根拠となるデータの探し方:公的文書、市民の声、現場等確認

(4) 成功の鍵

何をもって成功とするのか。

・施策の間違いを正すこと

・地域の負託に答えること

・議会での一般質問において、場合によっては徹底的に追求すること。

(5) その他

・参加した各議員同士の声を聞いていると、市長の事前調査による市内状況把握や質問の読解力から、リーダーシップ力に大きな差が生じる。と感じた。

以上

過去に新人議員5,000人が受講した人気講座

議員20年の現場知から学ぶ

一日集中「議員・議会の基礎講座」

議員活動は誰も教えてくれません。

地方自治法の基本も、議会運営の暗黙のルールも、質問づくりの勘どころも――。

先輩議員が間違えている場合には抜け出せません。

知らないまま任期を重ねれば、成果を出せずに終わってしまう議員も少なくありません。

本講座では、全国の議会や役所で研修をしていて、

20年の経験を持つ元議長が、議会と議員活動の“基礎”を徹底解説。

形式的な質問や前例主義から抜け出し、議員として生き残るための必須知識を一日で習得できます。

2026 1.13 火 東京

2026 2.7 土 博多

10:00

↓

12:30

議員の基礎力をつくる－自治法と議会制度の理解

- ・ 地方自治法の基礎－議員が必ず押さえるべき条文
- ・ 二元代表制とは何か－議会と市長の力関係
- ・ 与党や野党、1人会派の違いとは
- ・ 二元代表制の限界ではなく合意や対話ができない議員の限界
- ・ 1人でもできる戦い方と、教えた後に起きた各地の事例を教えます
- ・ 昔の議員、議会と令和時代の違いや過去参加者の声
- ・ 議員定数減少時代に生き残る議会のかたち

13:30

↓

16:00

議員活動を武器にする－質問・政策・発信

- ・ 一般質問の作り方－成果を出す質問と出ない質問
- ・ 先輩に聞いてはいけない質問術－独自性を生む視点
- ・ 議会質問と政策提案のつなげ方
- ・ 予算書・決算書の読み方－議員が見るべき数字
- ・ 市民に届く議員活動－広報や活動手法
- ・ 議員の情報収集術－ネット・現場・市役所の活かし方
- ・ 20年の経験から答える－「よくある誤解」と「必勝のヒント」

みやもと しょういち

宮本 正一

元 寝屋川市議会議長、日本公共経営研究所代表、元 吉野町役場政策アドバイザー

1967年大阪府生まれ

ポストン・ウェントワース工科大学卒業、神戸大学経営大学院でMBA（経営学修士）、

大阪市立大学大学院医学研究科で医学博士号（公衆衛生学）を取得。

厚生労働省厚生労働研究「ワクチン疫学研究班」研究員（～2023）、

同志社大学生命医科学専攻講師担当科目「解剖学概論」（～2023）、吉野町役場政策アドバイザー（～2024）

【著書】

「サービス産業経営論（第7章自治体の経営）」（税務経理協会）

平成7年に27歳で寝屋川市議会議員に初当選（無所属）

5期20年間市議会議員（第54期寝屋川市議会議長）

大阪府知事選他、17の選対本部で事務局長

アメリカ大統領選挙も視察（クリントン、トランプ1期目）

